

明るく元気の出る町

平成5年4月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1993

4

NO.457

巣立ち

普段着の小学校から制服の中学校へ

一歩ずつ大人に

なつて行くわが子の姿に

うれしさいっぱい



秋田県東由利町

平成5年度施政方針 4~6

はい!!役場です 8~9

平成5年度町の告所 10~11

東由利トピックス 12~13

みんな集まれ!タウン広場 16~17

特集 | 町のたから……ひとづくり

明日の町づくりを
支える少年たちは
希望を胸に
それぞれの道へ



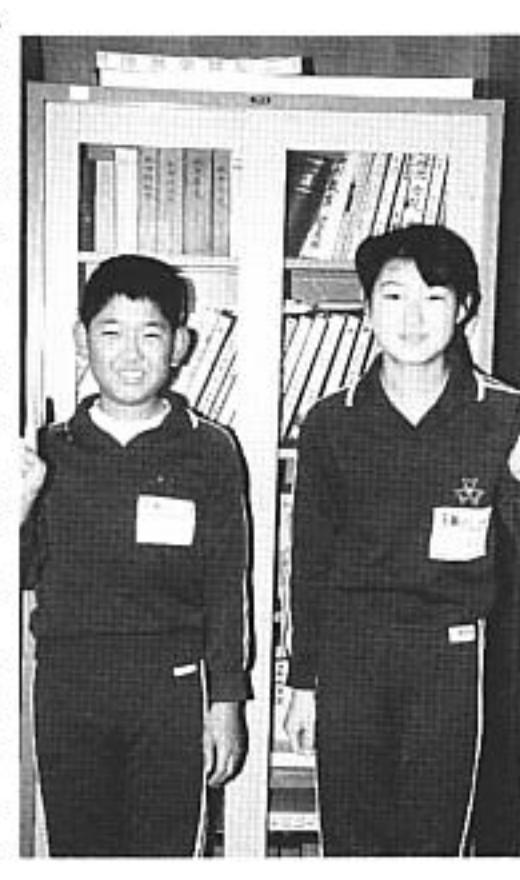
将来を担う後継者の育成は町の施政方針の四本柱の一つ。四月は「別れ」と「出会い」の時期でもあります。

町の将来を担う少年たちとそれを支える先生たち——今回はその人達にスポットを当ててみました。

小学校では「人間性豊かな子供」を育てるために、感受性豊かな小学生時代に創造力、直感力を身につけるようアドバイスし、受け身でなく主体的に物事に取り組むことができるよう指導しています。また一人一人の個性を尊重して将来いろいろな面で「大きな人間」になるよう、生涯学習の基礎づくりをしています。



△大琴小△畠山晃君(写真・右)中学校ではバスケットを頑張ります△佐々木晃子さん(写真・左)中学校ではソフ



△高瀬小△小笠原雅人君(写真・左)だれにでもやさしくできる中学生になりたい△阿部美代子さん(写真・右)人をいじめない明るい中学生になりたい。



本町の小学校は「ほぼ一学年一学級のため競い合いや挑戦する気持ちがない。反面、あいさつ、言葉づかい、明るさなどいわゆる『子供らしさ』という面では郡内でもトップクラスでは

△八塩小△小松田達也君(写真・右)

中学、高校と野球部で頑張って甲子園に行つてみたい△横山志和子さん(写真・左)中学校には女子バスケット部がないのでバレー、ボールを頑張ります

小学校では 基礎づくり

卒業生の一言

中学校では

心のやさしさは トップクラス



有鄰館で行われた50人委員会

中学校では日々の体験活動の中から、自ら考え、判断し、実行のできる人間の育成を目標に、体験を通して子供たちに自信を与え、学力の向上に結び付けようとしています。本町の自然環境を生かし、ふるさとのすばらしさを身をもつて体験させようとしています。

また、「体力づくりを通して、耐えることを学ぶ」として部活動にも力を入れています。

個性ある“まち”づくり推進 50人委員会が発足

町の活性化拠点施設（道の駅関連）の整備構想のほか、町の個性づくりを推進しようと「地域活性化推進会議（略称五十人委員会）」が発足、三月十九日、第一回の会議が有鄰館で行われました。

会議では阿部町長が「役場、JA、商工会、森林組合職員レベルによるブ

ロジェクトチームの素案を提示、今後の構想を中心に構想をまとめていきたい」とあります。引き続き、委嘱状の交付を行いました。

このあと事務局の町産業課職員が、プロジェクトチームによる検討経過や構想素案を説明、これを中心に意見交換が行われました。

次回会議は四月十三日午前十時を予定、それぞれ意見を持ち寄ることとし、午後からは素案のアドバイザー、東北工業大学教授山田晴義氏を講師に「拠点構想と東由利町の地域づくり」をテーマに学習会を行うこととしました。

なお、委員は議会、農委、教委、JA、商工会、森林組合、事業主協議会、郵便局、農業士、連合青年会、連合婦人会、農近ゼミ、農村中堅婦人、老人会、地域興しグループの代表五十人と

て前向きな人間になつてほしい」と野田口校長先生は話しています。

希望を胸に高校へ

高校の合格発表の翌日、合格の喜びを先生に報告しようと卒業生が、東中を訪問。その中の三人から一言。

「高校ではバドミントンを頑張るぞ」と小松ひとみさん（写真右・下郷分校進学）、「私は弓道で全国大会へ」と古川

ひとみさん（写



真中央・由利高校進学、「演劇をやってみたい」と小野智子さん（写真左・由利高校進学）

二人に卒業にあたっての考え方を聞いてみました。卒業にあたっての考え方を聞いてみると、佐藤勝俊君（秋田ルビコンに就職）の二人は県外に出て自分を試してみた

小野礼子さん（写真・左）



「一回は県外に出て自分を試してみたい」と思い、東京への就職を決意しました。

県外で自分を試したい

小野礼子さん（写真・左）

「一回は県外に出て自分を試してみた」と思い、東京への就職を決意しました。

家の事を考えて町内への就職を決意した。今後は仕事の合間をみて、家の手伝いもしたい。県外に就職したいとはあまり考えず、町内で自分を磨いて行きたいと思う。今は夢と希望で一杯です。

夢と希望でいっぱい

佐藤 勝俊 君



いずれは東由利で生活したいと考えているので、私が帰ってくるころにはもうととすばらしい町になつていてほしいと思います。

就職や進学する人は八人、県内に就職や進学する人は十五人となっています。また本荘由利地区には九人が就職、このうち町内に就職する人は三人となっています。卒業生の中から、小野礼子さん（東京都・株式会社ソーセツに就職）と佐藤勝俊君（秋田ルビコンに就職）の二人に卒業にあたっての考え方を聞いてみました。

二人に卒業にあたっての考え方を聞いてみると、佐藤勝俊君（秋田ルビコンに就職）の二人は県外に出て自分を試してみた

小野礼子さん（写真・左）

「一回は県外に出て自分を試してみた」と思い、東京への就職を決意しました。

躍進！東由利——平成五年度施政方針説明

町長 阿 部 幸 悅

町は未来へ夢を 乗せて発進します

基本は

明るく

元気の出る町

設備投資の減少などにより国と地方では財政面での景気対策、日銀では公定歩合の引き下げによる金融対策を実施しています。

本町も昨年末にかけて、国の施策による大型補正を組み経済効果を期待した所ですが、現在のところ経済の上向きは先のことと推察されます。

このような状況の下、平成五年度も「明るく元気の出る町東由利」を基本

バブルの崩壊と共に「平成大不況」といわれる不況感が農村にも浸透しており、急激な経済の縮小、企業の

平成五年度の主要事業の一つである「ショートステイ・デイサービス・在宅介護支援センター」の建設は当初予算に

設計費を計上し、建設費は補正予算で対応することにしています。施設整備にあたっては東光苑の厨房を増築する

とともに、施設本体は東光苑に付帯して建設し、一体で管理していく考え方です。将来の高齢化比率を見越して在宅福祉の一層の充実を図る年になります。また、これまで体の不自由な方のみにタクシー券を交付していた「移送

長寿社会を
共に寿ぐ町



子供とお寄りがふれあう町に

に、①長寿社会と共に寿ぐ町づくり②山紫水明の里づくり③魅力ある産業の振興と町活性化の推進④将来を担う後継者の育成一を四本柱に施策を展開していきます。

各地区の座談会、議会の協議会や決算審査などで出された要望をできるだけ取り入れた予算編成を心がけました。

また、継続事業の完全実施、国の景気の動向も考慮して建設事業の地方単独分の伸びを重点に、積極的な財政措置に配慮しました。もちろん後年度の財政負担の状況を考慮して、公債費比率の動向などには充分留意し、財政の健全化に心がけました。



給付事業」について、平成五年度からは八十歳以上のお年寄りを含めて行うことになりました。これは県内初の試みであり効果が期待されます。

高齢化農村地域活性化モデル事業は、平成四年度有鄰館の後方斜面を整備して遊歩道を設置しました。平成五年度はセンコ堤を改修し、遊歩道二五〇メートル、東屋一棟、ベンチや花壇などを作り、緑地公園にする予定です。

弾みの年に 町活性化の

魅力ある産業振興と
町の活性化の推進



順調に進む道路整備

「子孫に美田を残そう」という考えに立って施策を展開していきます。

蔵ぐ老方地区の幹線農道六、七七二号、幹線用水路一〇、五〇〇メートル、幹線排水路六、三二〇メートルの整備を県営土地改良総合整備事業で行います。支線の農道、用排水路については十五分の受益者負担をお願いする予定で、これらの受益面積は百七十五ヘクタールです。

この他にも農道、林道を整備し作業能率の向上と付加価値の高い資源の開発を行います。特に本町茂沢から雄物川町浄法寺を結ぶ「三ツ森山林道」は平成五年度に工事着手し九年度で完成する予定です。延長九、七〇〇メートル（本町分五、〇〇〇メートル）、幅員七メートルの高規格林道が整備されます。また原点に立ち



川を大事にする心を育成

下水道整備 準備の一 年計画

山紫水明の里づくり

下水道事業は専任の係を置いて整備・計画策定の基礎調査を行っているところですが、五年度は「エリアマップ」を作成して、広く意見を集約する事にしています。下水道には公共下水道や農業集落排水など国の省庁により制度が異なり、最も有利な制度で整備するための計画策定準備の一年にする考えです。

また下水道整備までの河川浄化対策として、四年度に組織化された河川愛護協会を中心に河川愛護の啓発運動を実施します。これと併せてゴミの減量化に向けてコンポスト（生ゴミ処理器）購入に対して半額の助成を行うことにしました。さらに環境モニターを委嘱

返った和牛飼育の施策展開など、きめ細かな予算措置に配慮しました。

一方、「道の駅」を中心とする活性化拠点施設の整備については、役場内にプロジェクトチームを編成して検討してきたところですが、平成五年度は用地購入を行います。そして具体的な整備内容について「町活性化推進会議『五十人委員会』（仮称）」を設置して、全町民一体となつた施策の展開を図る考えです。平成五年度は「町活性化の弾みの年」と位置付けています。



して、試験的に排水処理設備（簡易な沈殿浄化槽）を利用してもらい、効果を試すことにしました。

（次のページに続く）

将来を担う後継者の育成

研修、交流会で若者を育成

人づくりは行政に課せられた課題であると認識し、後継者づくりのために積極的な支援をしたいと考えています。地域づくりのために活動している団体や個人の頑張りには大変感謝しています。平成五年度には地域手づくり事業による支援のほか、宝くじの助成金を利用して弁天島に照明施設を取り付けてもらうことにしました。

また海外研修をはじめとして若者からお年寄りの各層にわたっての研修を実施します。

その他の平成五年度の主な事業は、小松音楽兄弟を記念した本荘市由利郡音楽祭の本町での開催、近隣市町村を対象にしての青年交流会の開催、さらに関若者たちを中心とした東京ドームで



若者の参加が多いスポーツ交流会

の交流会を検討しています。また施設面では中学校体育館の暖房設置、大琴小学校体育館屋根の改修、同小スクールバスの更新などを行う予定です。

主な議案

平成四年度一般会計が40億円台に

平成四年度一般会計予算に九千四百二十六万八千円を追加し、総額四十億三千二百九十五万八千円としました。

主なものは▼庁舎建設基金積立金三千万円▼減債基金積立金二千百六十七万七千円▼地域振興基金積立金九千七百二十一万五千円▼由利組合総合病院建設費補助金千三百七十九万円、全天候型多目的運動広場工事費千百三十七万三千円。

議員や町長などの報酬を改定

議長二十四万円（三十二万九千）、副議長二十万円（十九万三千）、議員十九万円（十八万三千）、町長七十三万円（七十一万）、助役五十六万円（五十四万五千）、収入役五十二万五千円（五十一万）、教育長五十万円（四十八万五千）に改定。（）は現行。この他教育委員、消防団員、選舉管理委員などの報酬も改定しました。

町指定金融機関にJA東由利

継続事業である「全天候型多目的運動広場（屋根付）」の施設本体の工期は五月二十日となつており、現在愛称



工事中の全天候型多目的運動広場

建設 教員住宅を 平成五年度は

施設整備

を募集しています。完成記念の「ゲートボール大会」も予定しています。今後は周辺施設を含め、全体の利用率向上について検討、努力していきたいと考えています。

平成四年度に町営住宅六戸を建設し、四月上旬から入居する予定ですが、平成五年度は教員住宅の建設を予定しています。建設費は国の補助内示を待つて、補正予算で対応する事にしてます。

また道路整備関係は農道整備十五箇所、農村公園二箇所、林道整備七箇所、道路新設改良事業十三箇所などとなっています。

町の公金の収納及び支払いの事務を取り扱わせる「指定金融機関」に東由利農業協同組合を指定しました。

一般質問



平成5年度に更新される大琴小スクールバス「やまびこ号」

いきたい④平成5年度に検討していくたい

小松慎一議員 ①新農政プランは「弱者切り捨て」の理論、東由利農業の対応は②森林組合の育成に行政でも努力を

から意見を充分集約して検討しなければならないと考えている。②平成5年度予算の中でも推進活動補助金を計上している。林業労働力対策にも支援していきたい。

小松賢議員 ①肉用牛の肥育一貫体系の実験事業を町営で②気密サイロ増設の考えは③新奥の細道事業の見通しと内容は

町長 ①技術をきちんと修得する事が大切と考える。今のところ町直営では考えていない②希望があれば三分の一の補助で実施したい③平成5年度は八塩ルートを整備する予定で、東屋の建設や案内看板・標識等の設置も予定している。

遠藤忠平議員 ①肥育事業研修の経緯と研修費の増額を望む②子牛販売所得の免税の法律を継続するよう努力を③減農薬などの特別栽培米を制度化し付加価値をつけることを望む④航空防除の見直しを⑤稻作、畑作、畜産の三指導員に年度の反省や指針を提出している

整備を

町長 ①平成5年度は継続して実施する②利用者から了解を得ており秋までには解体したい③五十人委員会(仮称)などで議論してもらい意見を集約して

金貸付金の増額を⑦介護手当の増額を①PR不足などもあり平成4年度は実績がなかった。増額よりも本人

のやる気が大切であると考えている。

②これからも一層の陳情を続けていく

③特別栽培米の制度化は行政が介入すべきないと考えるので、米が高く売れるようなPR等を続けていきたい④平成5年度は継続するが代替対策を示しつつ、やめる方向での検討も必要と

考える⑤内部検討をしながら町民の要望に応えられるよう努力したい⑥貸付金はいずれ返してもらわなければならぬので、返済との兼ね合いを考えて検討したい⑦平成4年度から町単独で行っているがディサービスセンターもできるので、それらを含めて検討したい。

佐々木長円議員 ①スクールバス路線見直しの考えは②小中学校備品の活用状況は③小中学校備品を廃棄処分する時の判断は

教育委員会 ①遠距離通学の補助金と合わせて見直しを検討している②旧七小学校などから継続して使用しているものなどもあり、古いものもあるがおむね有効に活用している③廃棄処分する場合は校長の判断で教育委員会の承認を得るようにしている

国保運営協議会の委員定数を改正

町農村公園設置条例に歳農村公園を追加しました。

国民健康保険運営協議会の委員を現行の九名から十二名に改正しました。

過疎計画を変更

過疎地域活性化計画に三ツ森山林道や台山線の歩道設置などを追加、ディサービスセンターの面積などを変更しました。

固定資産評価審査委員に佐藤力氏を再任

任期満了に伴う固定資産評価審査委員に佐藤力氏(六十三歳・宇戸坂)を再任しました。

平成5年度に完成する全天候型多目的運動広場(屋根付)の使用料などを定めた条例を制定しました。

清掃手数料を改定

全町を甲(週二回ゴミを収集する地区)、乙(週一回ゴミを収集する地区)、

その他の地域(週一回ゴミを収集できない地区)の区分に分類し、清掃手数料を定めました。一般家庭では甲地域で二千円、乙地域で千五百円、その他地域では八百円になります。

のやる気が大切であると考えている。

屋内運動広場設置条例を制定

平成5年度に完成する全天候型多目的運動広場(屋根付)の使用料などを定めた条例を制定しました。

はい、
役場です

いよいよ「春爛漫」の4月。
新年度とあっていろいろ制度が変わります。
今回は「国民年金」と「標準小作料」を紹介
します。

このように変わります

項目	年 度		平成4年度	平成5年度
	年 金 額	スライド率	年 額	年 額
[国民年金]				
老齢基礎年金	725,300	3.3%	737,000	1.6%
障害基礎年金(1級)	906,600		921,600	
(2級)	725,300		737,300	
遺族基礎年金(子1人)	934,400		949,800	
基本	725,300		737,300	
加算	209,100		212,500	
(3人目以降)	69,700		(3人目以降)70,800	
[老齢福祉年金]				
収入600万円未満	440,700		447,900	
収入600万円以上	375,100		381,300	
(1級)	906,600		921,600	
(2級)	725,300		737,300	
母子年金(子1人)	934,400		949,800	
母子	725,300		737,300	
母子加算	209,100		212,500	
(3人目以降)	69,700		(3人目以降)70,800	

平成四年度の消費者物価上昇率が前年比一・六%となりました。物価スライドされて四月から一・六%引き上げられ次のようになりました。

なお、この物価スライドは、生命保険会社などで販売している個人年金にはない制度で、毎年引き上げられる保険料額に不満をもたれる方も多いと思いますが、保険料は四月から一万五百円になります。

年金額は1.6%増

公的年金は将来的にも物価上昇による日減りもなく、年金額が保証されています。

年金保険料は一万五百円に

このため保険料の引き上げは、給付と負担のバランスをとるための改定です。年金制度は、働く若い世代がみんなの力でお年寄りを支え、働く世代が代の助け合い」で成り立っています。

愛の献血

ありがとうございました。
（敬称略）

四〇〇cc.		二〇〇cc.	
高橋	小松	小野	畠山
孝紀	修一	浩市	美喜子
小松	高橋	大庭	煙山
信記	鈴子	満寿子	煙山
			美喜子
			佐々木
			芳雄
			興
			茂木
			横山
			昌喜
			好春
			正二
			稔
			渡辺
			里美
			大場
			猪股
			千江子
			守
			田代
			一広
成分献血	寿和		



4月からアップします

【老方駐在所】（敬称略）
《転出》△佐藤広喜（本荘署）
《転入》△三浦善哉（本部高
速隊）

【宿駐在所】
地域課
《転入》△柏谷和之（角館署）

【警察官異動】
（敬称略）
《転出》△長沢英紀（本荘署）
《転入》△佐藤富美子（本部高
速隊）

標準小作料が下がりました

農業委員会では農地の標準小作料を次表のように見直し、

料や転作を加味した水田の参考小作料も定めています。

平成五年四月から適用することにしました。今回の見直しでは、水田でそれぞれ千円、転作含みの参考小作料では千八百円、転作田では五千円の値下げになりました。今回の算定に当たり農業委員会では

「生産費の値上がりや生産者米価の引き下げなどが標準小作料を値下げした要因」としています。

この見直しは三年に一回行

われ、貸し手、借り手、学識経験者から意見を聞いたうえで、標準小作料を定めています。また、転作田の参考小作

教職員異動

(敬称略)

【八塩小】
 ▽講師・石川昌弘(退職)
【転入】▽校長・佐藤正治(新山小)▽今村聰(石沢小)▽戸賀瀬百合賀(尾崎小)▽丸山隆(西滝沢小)▽講師・小野薫
【転入】▽教頭・和田捷治(新山小)▽横田宏(矢島小)▽山本晃子(新採用)
【高瀬小】
 ▽校長・佐藤貢(岩谷小)▽三浦憲一(新山小)▽石井文子(北内越小)▽佐藤健司(子吉小)▽坂之上淳子(上浜小)

▽佐藤美穂子(上到米小)
【大琴小】
 ▽校長・鈴木憲一(退職)▽田口綾子(新山小)▽講師・佐々木康三(退職)
【転出】▽校長・佐藤公(大曲高)▽伊藤剛(秋田東高)▽高橋明夫(湯沢北高)▽安東純子(男鹿北中)▽高橋政昌(東京都立南高)▽三浦好晴(六郷高)▽講師・小玉雅之▽講師・横山牧子

【東由利中】
【下郷分校】
 ▽校長・佐藤公(高)▽高橋明夫(湯沢北高)▽安東純子(男鹿北中)▽高橋政昌(東京都立南高)▽三浦好晴(六郷高)▽講師・

小)▽講師・渋谷由香(退職)
【講師】▽宮野利之(西目中)▽事務長・佐々木文一(退職)▽講師・宮本秀明(退職)▽講師・佐伯知久夫(退職)
【転入】▽松橋隆(由利中)
【転出】▽松橋隆(由利中)
【講師】▽宮野利之(西目中)▽事務長・佐々木文一(退職)▽講師・宮本秀明(退職)▽講師・佐伯知久夫(退職)
【転入】▽佐藤正治(新山小)▽今村聰(石沢小)▽戸賀瀬百合賀(尾崎小)▽丸山隆(西滝沢小)▽講師・小野薫
【転入】▽教頭・和田捷治(新山小)▽横田宏(矢島小)▽山本晃子(新採用)
【高瀬小】
 ▽校長・佐藤貢(岩谷小)▽三浦憲一(新山小)▽石井文子(北内越小)▽佐藤健司(子吉小)▽坂之上淳子(上浜小)

▽校長・佐々木武(西目小)▽石橋明(金浦小)

▽校長・佐藤公(高)▽高橋明夫(湯沢北高)▽安東純子(男鹿北中)▽高橋政昌(東京都立南高)▽三浦好晴(六郷高)▽講師・小玉雅之▽講師・横山牧子

▽校長・佐藤公(高)▽高橋明夫(湯沢北高)▽安東純子(男鹿北中)▽高橋政昌(東京都立南高)▽三浦好晴(六郷高)▽講師・

10アール当たりの標準小作料 ()内は見直し前の額

農地の区分	基準収量(kg)	標準小作料(円)	転作含みの参考小作料(円)
田	上田	590	45,000 (46,000)
	中田	540	39,000 (40,000)
	下田	480	29,000 (30,000)
転作田の参考小作料			15,000 (20,000)



畠中 剛さん



佐藤 恒悦さん

剛先生が四月一日付けの異動で金浦中学校へ転勤、社会教育指導員の佐藤恒悦さんが任期を終えて、退任されました。

畠中先生は平成二年四月に県派遣スポーツ主事の畠中剛先生が四月一日付けの異動で金浦中学校へ転勤、社会教育指導員の佐藤恒悦さんが任期を終えて、退任されました。

佐藤恒悦さんは平成二年四月に町社会教育指導員に就任。マさんバレーや親子スポーツ教室の普及など地域と一体となつたスポーツ活動を展開していました。

佐藤恒悦さんは平成二年四月に町社会教育指導員に就任。マさんバレーや親子スポーツ教室の普及など地域と一体となつたスポーツ活動を展開していました。特にことぶき大学などの活動では地域とお年寄りをつなぐ"パイプ役"を努め、お年寄りの生きがい対策などを積極的に指導されました。

青少年教育指導員に八嶋シゲさん就任



八嶋 シゲさん

畠中先生ごくろうさまでした

佐藤 社会教育指導員

本町の最高齢者

佐藤アキノさん永眠

本町で最高齢者の佐藤アキノさんが三月八日午前九時半、五海保の自宅で脳梗塞のため永眠されました。

百一歳。

佐藤さんは明治二十四年九月二十日生まれ。県内九番目の長寿者で、平成三年には満百歳を迎えた。本町で二人目の長寿祝い金が贈られています。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

今年の四月から欠員となつて、いた青少年教育指導員に一年四月付で八嶋シゲさん(上通)が就任しました。主に青少年と婦人の活動、援助にがんばっています。



平成5年度 町の台所

町民1人当たりに **590,000円**

「明るく元気の出る町東由利」を大きな柱に、いよいよ平成5年度がスタート。「平成大不況」といわれている現在、町ではどんなことをやろうとしているのか、当初予算の内容を紹介します。

町単独事業が多い

積極型予算

平成5年度一般会計当初予算は三億四千八百七十二万四千円で、前年

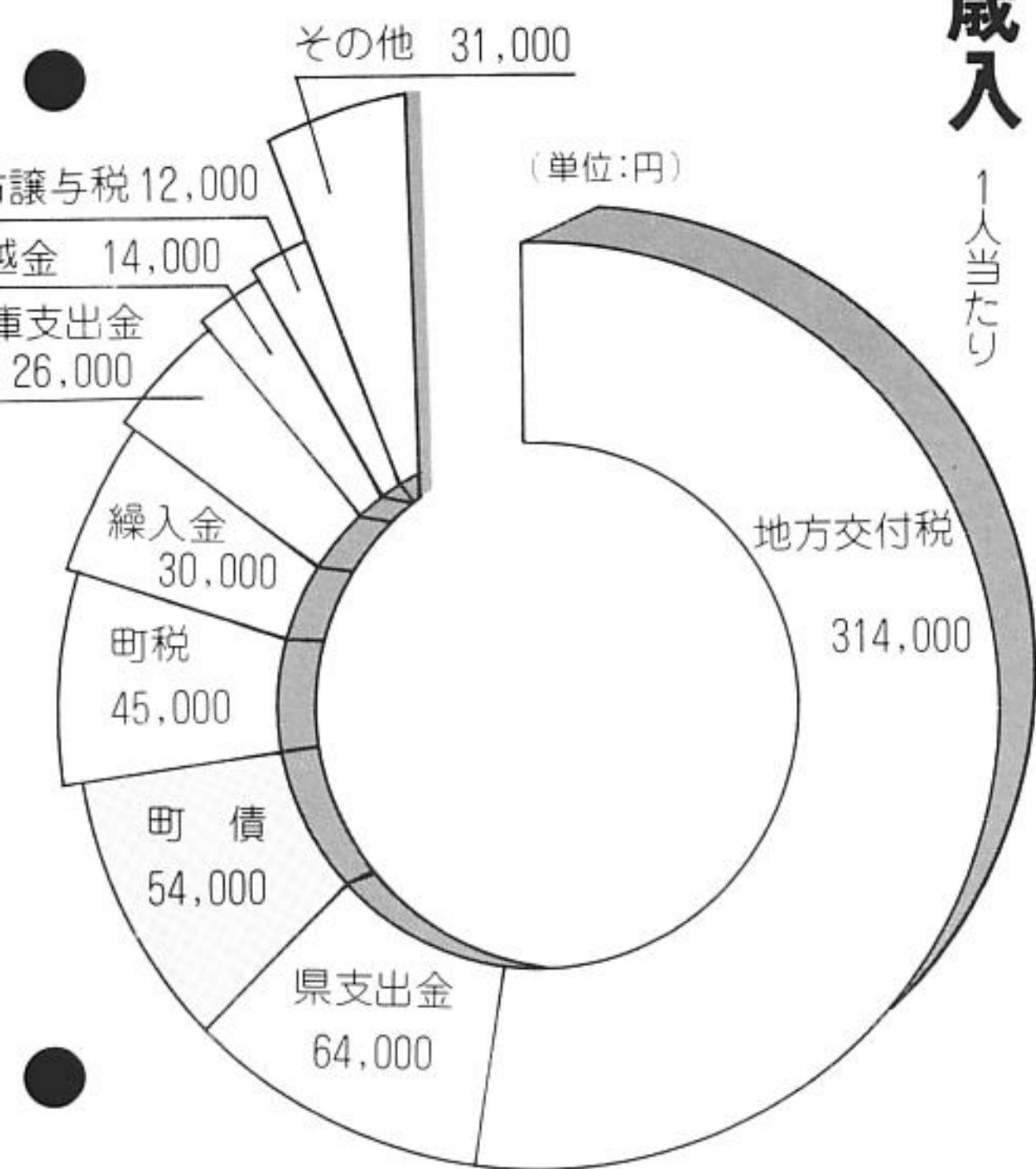
度に比べて三・三%の増となっており、特に町単独で行う事業が十七・八%と高い伸びを示しているのが特徴です。歳入は、国や県から交付されるお金である地方交付税などが全体の八十・八%、逆に町で収入できるお金である

町税などが十九・二%となつておらず、ほとんどが国や県からの交付金で賄われています。

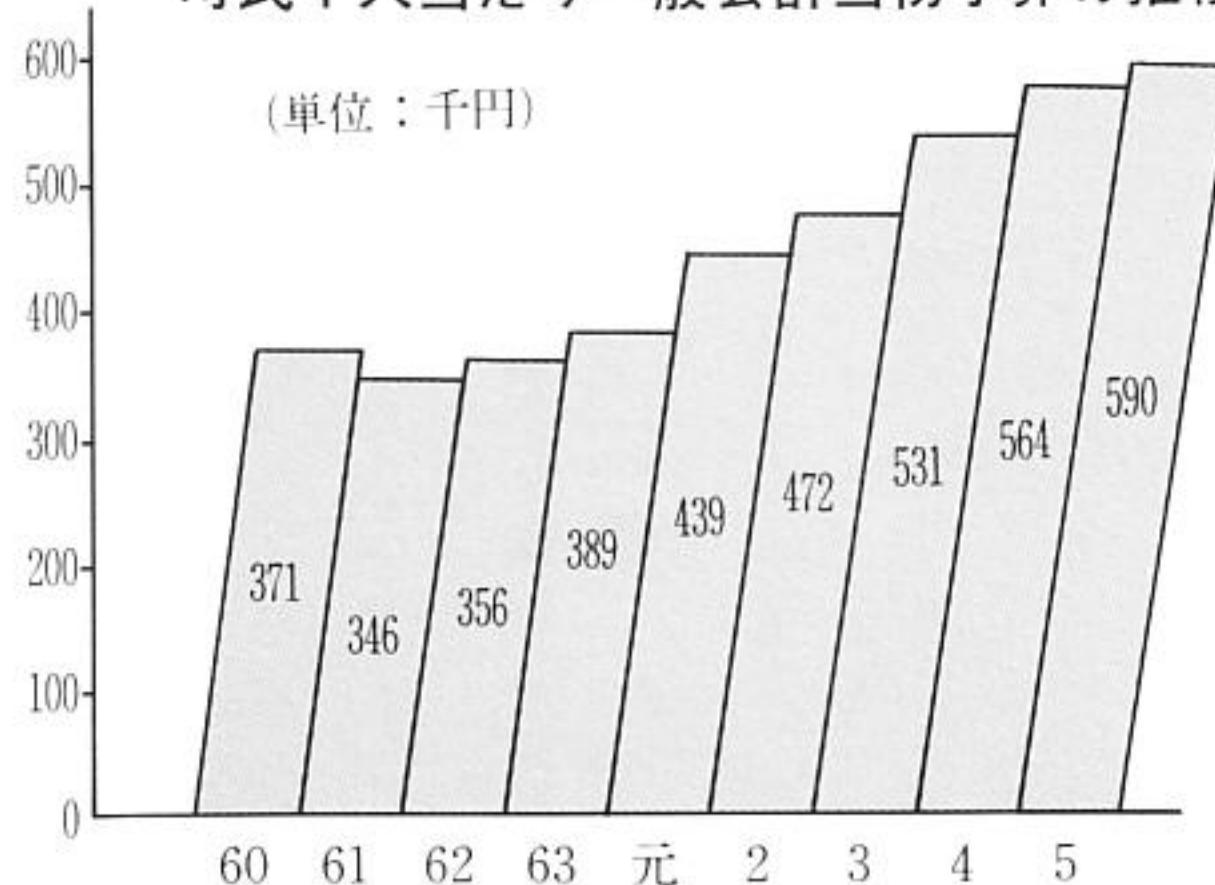
歳出は、全天候型運動広場建設一億二千二百二十五万円、活性化拠点施設用地購入費二千四百万円などの町単独事業が多い、積極型予算となっています。

平成5年度一般会計予算

歳入 (単位:千円) / △・減



町民1人当たり一般会計当初予算の推移



平成5年度特別会計予算

(単位:千円) / △・減

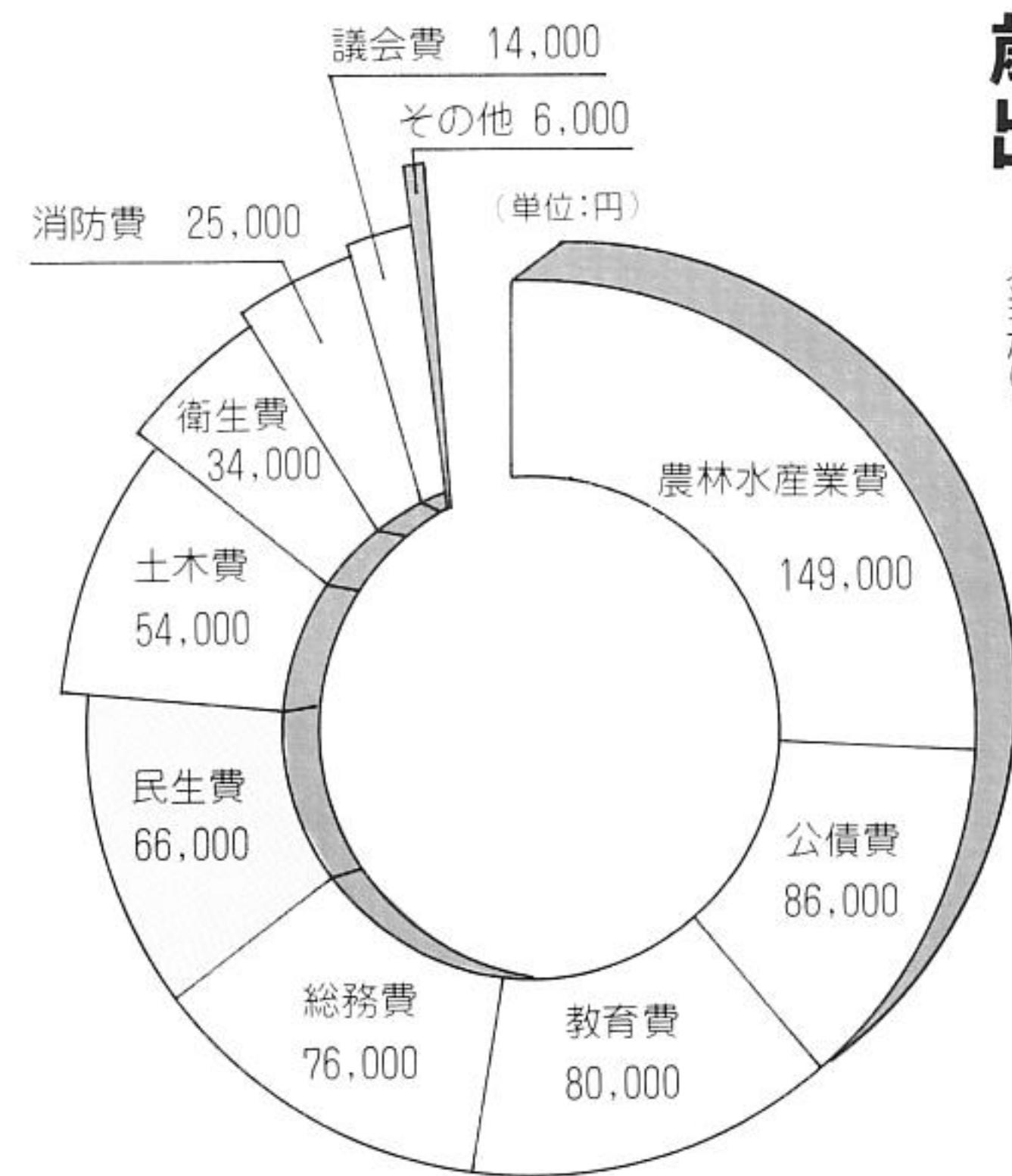
会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減率(%)
国民健康保険	425,576	462,873	△7.9
老人保健	478,021	408,189	17.1
黒渕診療所	2,492	2,473	0.8
簡易水道	131,870	149,954	△12.1
特別養護老人ホーム	195,525	170,485	14.7
大平スキーホール	17,830	15,782	13.0
玉米財産区	736	1,644	△55.2

歳出

1人当たり

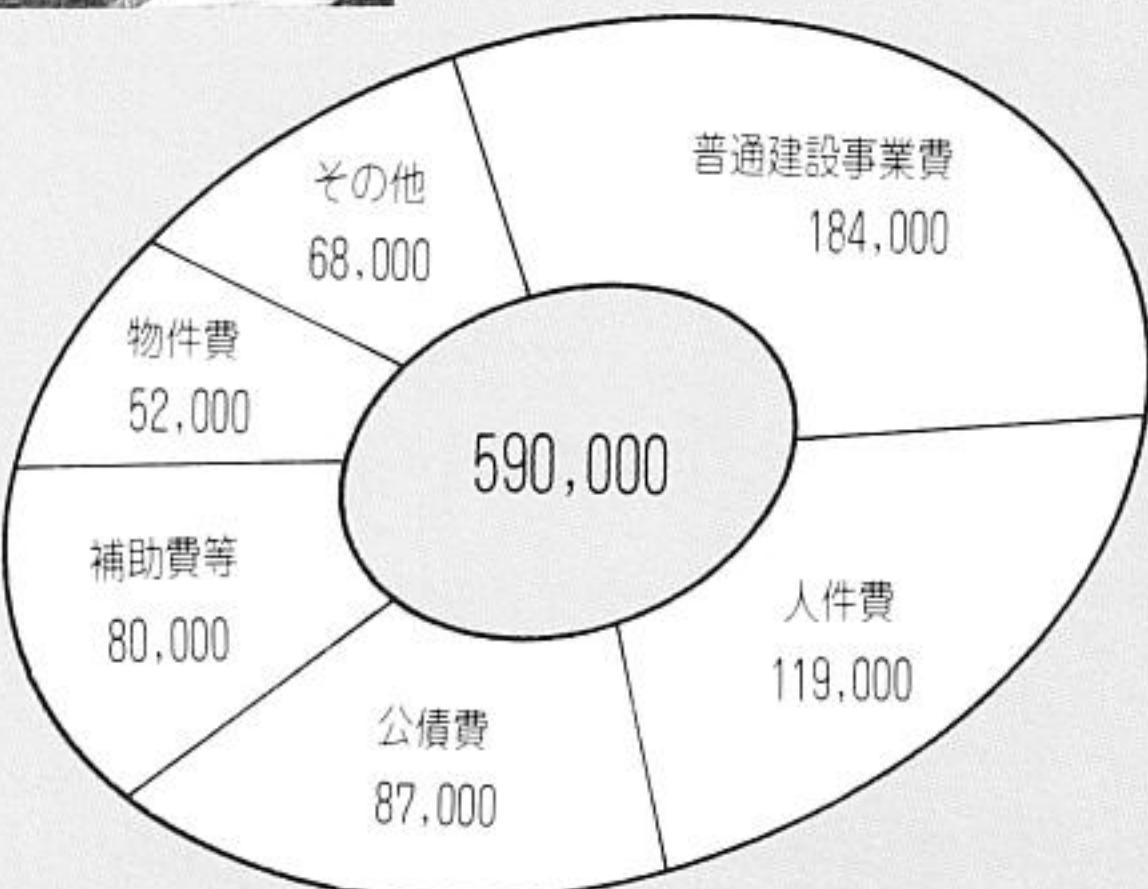
平成5年度 主な事業の実施計画

事業(事項)名	区分	事業費
総務費		
衆議院議員通常選挙費		4,140
地域手づくり事業		765
若者定住促進奨励事業		2,585
コミュニティ助成事業		3,050
青年交流会開催事業		616
地域活性化推進事業		1,800
地域活性化拠点施設用地対策事業		24,000
民生費		
身体障害者養護施設入所事業		2,604
老人福祉施設措置事務費		134,468
更生医療給付事業		845
高齢者等移送費給付事業		1,075
介護手当支給事業		1,440
長寿祝金支給事業		1,424
高齢者住宅、障害者居室整備資金貸付事業		7,500
老人福祉施設整備事業		9,000
東光苑厨房増築事業		14,207
衛生費		
生活環境改善対策事業		800
健診事業		37,012
第3回健康推進大会開催事業		1,916
粗大ゴミ処理場整備事業		2,260
農林水産業費		
新農業新技术導入事業		4,545
高齢化農村地域活性化モデル事業		68,712
地域活性化拠点施設整備促進事業		3,743
産業道路整備事業		5,550
戦略農業確立対策事業		2,000
周年型農業振興事業		1,513
水田営農適正化対策事業		1,437
畜産振興対策事業		1,977
肉用牛一貫生産体制確立対策事業		3,490
肥育経営促進協議会事業		215
肉用牛繁殖増頭対策奨励事業		2,700
出羽丘陵開発実施推進事業		61,865
県営土地改良総合整備事業		5,272
農道整備事業費		129,162
農村総合整備モデル事業		125,820
地籍調査事業		49,865
農村下水計画費		4,047
造林事業		31,312
集落拠点林家活用対策事業		432
木工の里づくり推進事業		290
林道新設改良事業		133,420
商工費		
電柱廣告案内看板設置事業		469
土木費		
道路新設改良事業		180,300
冬期交通対策事業		27,207
河川愛護推進費		457
公営住宅管理事業		2,172
消防費		
消防施設整備事業		16,363
教育費		
大琴小学校屋根改修事業		850
大琴小学校スクールバス更新事業		7,891
中学校体育館暖房設置事業		7,560
学校週5日制推進事業		365
史跡天然記念物保存事業		2,856
生涯学習推進費		10,683
社会体育奨励事業		1,375
全天候型多目的運動広場整備事業		80,000
全天候型多目的運動広場外溝整備事業		42,250
全天候型多目的運動広場管理運営事業		6,174
笛山グラウンド整備事業		11,014
多目的広場落成記念ゲートボール大会		116



一般会計性質別歳出予算の状況
(1人当たり)

(単位:円)



町民一人当たりの町税の内訳

町民税	14,608円
固定資産税	25,767円
軽自動車税	1,474円
町たばこ税	2,944円
合計	44,793円

珍プレーの連続

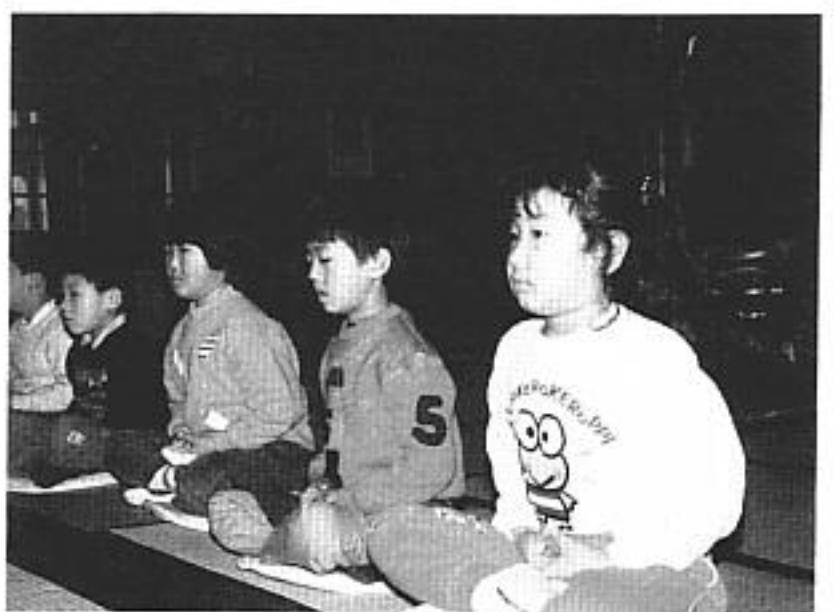
第三回全県選抜雪上野球東由利大会が七日、労働者野球場で開かれ、町内七チームのほか、秋田市、大森町、西目町からそれぞれ一チームが参加し、十チームで熱戦が繰り広げられました。

当日は労働者野球場を四つに分けて一斉に試合開始。下着に雪が入らないよう完全装備した選手たちが、雪に足を取りながらも精一杯プレーしていました。ヒツチャーゴロでもボールが雪に埋まってしまい、探している間にセーフになるなど、珍プレーの連続で和気あいあいの雰囲気で試合が行われました。

参加者は「土の上と違つて、思うように行かないところがまた楽しい。来年も参加したい」と雪上での野球大会に満足そうでした。



進塁はすべてヘッズライティング



真剣な表情の園児たち

『じつと我慢』の子供たち

子供のころから「落ち着いた心を養う」ためにと、永慶保育園では年長組の園児を対象に毎月一回「座禅会」を行っています。

三月十日は四年度最後の座禅会とあって、お寺の本堂を利用して行われました。園長先生から「これが最後の座禅会です。最後までしっかりと頑張りましょう」とあいさつがあり、鐘の音とともに座禅会が始まりました。子供たちは時々キヨロキヨロしながらも約三十分、じつと我慢しながら正座していました。

「最初は落ち着かない子供たちも、一年続けると随分成長します。これからも続けて行きたい」と保育園では話しています。

「 $\frac{1}{2}$ 成人式」で 満10歳を祝う

二十歳のちょうど半分の満十歳を迎えたのを機に、両親や地域の人々に感謝し、高学年に進む心構えを身につけてもらおうと三月十六日、大琴小学校で $\frac{1}{2}$ 成人式が行われました。



$\frac{1}{2}$ 成人式を迎えた仲間で記念撮影

「成人式」では最初に鈴木憲一校長が「みなさん多くの人にお世話をなつて成長しました。その人達への感謝の気持ちを忘れないでほしい」と話した後、児童会長の小野隼人君が「これからも一生懸命頑張ってください」とお祝いの言葉を述べました。最後に「新成人」を代表して高橋美和さんが「人のためになることを進んで行います」と誓いの言葉を述べました。



6個人、3団体を表彰

平成四年度町スポーツ栄誉賞の表彰式が三月一日、有鄰館で行われ、個人の部六人、団体の部三団体が表彰されました。入賞者は次のとおりです。

(敬称略)

▼個人の部

石綿民紀(大琴小六年、郡市小学校スキー大会大回転優勝)、大庭優子(東中三年、郡市中学校陸上競技大会八百㍍走第一位)、遠藤静(東中三年、同大会三種競技A第一位)、遠藤淳子、小松美香(下郷分校三年、県民体育大会バドミントン競技第三位)、小松尚子(由利高三年、県民体育大会弓道団体優勝)



3月1日に行われた表彰式



畠山副団長

畠山副団長が消防庁長官表彰

町消防団副団長の畠山勉さん(写真・地下ノ沢)が消防庁長官から永年勤続功労章を受賞しました。

畠山さんは昭和四十一年消防団員を拝命し、昭和六十二年に三十代の若さで副分団長に推され、平成三年に現職に就任。部下団員の育成、火災予防の思想普及、消防施設の整備に手腕を発揮しており、今後も一層の活躍が期待されています。

▼団体の部

八塩小女子バスケットボールチーム(郡市小学校バスケツトボール大会優勝)、東中男子リレーチーム(郡市中学校陸上競技大会八百㍍リレー優勝)、老方プリンスチーム(全県ゲートボール大会三位、東北大会出場)



白熱した試合のバスケットボール大会

ハイレベルの試合を展開

全町バスケットボール大会が三月二十一日、男子十四チーム約二百人が参加して健康増進センターで行われました。

今年は中学生からバスケットボールクラブOBまで幅広い年齢層での交流となり、中学、高校の現役選手や経験者が多く参加してハイレベルの試合を開催しました。

試合の結果、男子では中学校の先生を主体にした「エアージョーダン」が、女子では平成三年度全県大会に出場した八塩小OBチームを主体にした「魔惑Kish」がそれ優勝しました。

橋名板を作成

道路改良整備に伴い新設された国道一〇七号の「下舟木橋」と町道須郷田跡見坂線の「須郷田橋」の二橋の橋名板の文字は、大琴小と八塩小の子供たちが書いてくれました。

下舟木橋の「平成四年三月完成」は大庭大介君

大介君、「石沢川」は大庭幸人君、「石

幸人君、「下舟木橋」は大庭恵美さ

ん、「下舟木橋」は長谷山

橋は大庭恵美さん

もふなぎばし

は大庭恵美さん

とも子さんが

それぞれ書い

てくれました。

また須郷田橋

と「竣工平成

五年一月」は

柴田和佳子さ

ん、「石沢川

と「すうた

はし」は横山

志和子さんが

それぞれ書い

てくれました。

橋を渡る時、

注意して見て

みてはいかがでしょうか。

HIGASHIYURI 東由利の話題 TOPICS

町の宝もの

①

薬師瑠璃光如来像

所有者は新町の小松春松氏で、像は宅地内の東北端にの堂に安置。いい伝えによると、この天護内大權現の薬師像は高薬師山頂（四三八・八

手と光背（背にある円い輪）をもぎとされている。百年以上も両手がなかつたのを、小松家の兄弟・親類が協力し昭和三十七年中央の美術鑄造の大家により良質の銅で、両手・光背を復元しました。高さ一・一四メートル、幅九〇センチ。



新卒、Uターン就職者には

3万円の祝い金

町の若者定住促進条例の中に「就職祝い金」という制度があります。

これは町内または町内より通勤可

能な事業所などへ就職した新規学卒の方、Uターンの方に三万円の祝い金をあげようというものです。

ただしそれは条件があり①三十

五歳以下であること②新卒又はUターン後六ヶ月以内に就職してその後六ヶ月を経過した方であること③公務員でない方の三つです。

東由利Hターン◎情報

平成四年中に祝い金を支給した方は十五人になっています。

若者には低利の貸付け制度もあり

また、若者が生活に必要な物を新しく購入する場合、家を新增築する場合、更に新婚旅行の資金などを貸付けする制度もあります。

利率は住宅資金が年三・三、他の資金は無利子と借りる人にとっては有利な制度となっています。

お問い合わせは役場企画課まで。



労働災害、水難事故などあらゆる災害に対応できる救助工作車の配備により、地域住民の生

愛育班の活動をするようになってから自分の健康、家族の健康を考えるようになりました。活動をしていて、いろいろな人と触れ合い、思いやりの心を持てるようになり愛育班活動をしていて本当に「よかつた」と感じています。

現在、百三十八名の会員で、「虫歯の予防」、「一日一万歩運動」、「各家庭への訪問」など健康に関するさまざまな活動をしています。特に各種検診の呼びかけには力を入れており、班員が一致団結して行っています。

本荘地区消防事務組合管内の救助活動を必要とする災害の発生は、年々増加の傾向にあり特に交通事故による救助活動が増え事故の形態も大規模になっています。

これまでマイクロバスに救助資機材を積み込んで対応していたのに比べ、さまざまな災害現場の人命救助に迅速かつ効率的に対応できるようになりました。

クレーンやウインチ、発電装置及び

照明装置二基と救助活動に必要な資機材を装備した最新鋭の救助工作車は、六人乗りで総重量十三・七トン。



畠山愛子さん（横小路）

あかあさん登場

愛育班から

最新鋭の救助工作車導入

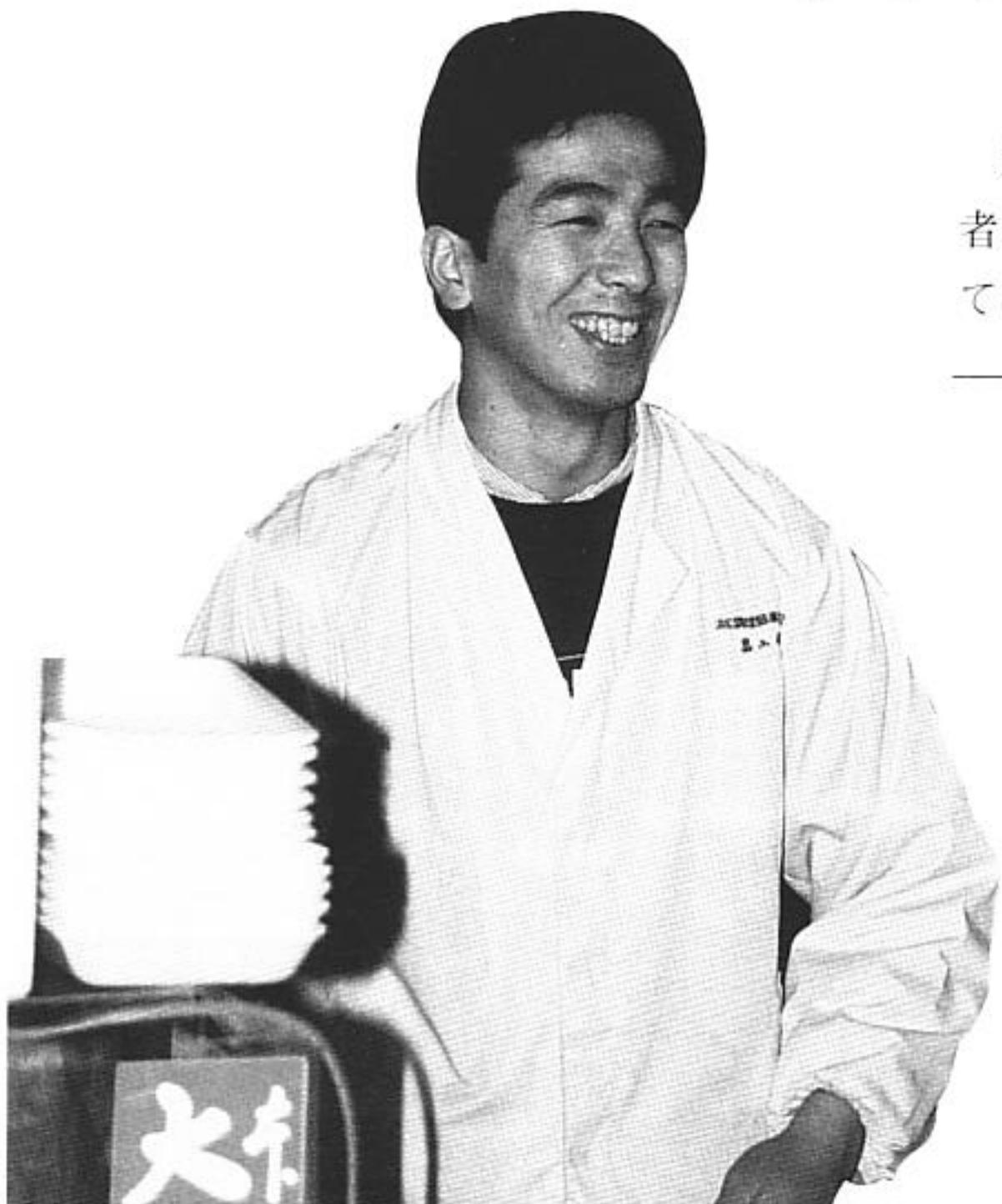
若い力が 明日の東由利を引っ張る

いきいき、クローズアップ



蔵・畠山 鋼さん

地域づくりが盛んな蔵地区にひとりのがむしゃらな若者がいます。畠山鋼さん（二十五歳）。「今が一番充実している」という彼の素顔を追ってみました。



自分の力を試したいと

「調理師」に

秋田商業高校、秋田短大商経科と商業関係に進学して行った彼が「自分の力を試したい」と東京で一年間料理の修業に出ました。その後調理師になることを決意し、静岡県の浜松調理師専門学校で調理師免許を取得し三年前に学校で調理師免許を取得し三年前に東由利町に帰つてきました。今や一家の大黒柱になりつつあります。お父さんの昭雄さん（五十六歳）は「いずれは家業を任せなければならない。まだ若いが前向きに一生懸命頑張ってくれ



仕事の合間を見て帳簿の整理

人とのつながりを大切に

「物心ついた頃から『おれは家を継がなければならない』と思いはじめ、料理が好きなこともあって、家業を継ぐことにはあまり抵抗がなかつた」という鋼さん。「現在は親が築いてくれた店を維持するだけで精一杯」と話す一方、「自分の思いどおりに仕事ができ、お客様に喜んでもらつた時の充実感は最高の魅力。何よりも人のつながりの大切さを痛感している」と家業を継いで三年の素直な気持ちを話してくれました。

商工会青年部に所属してからは同職の先輩と知り合い、苦しみを分かち合える事が何よりの収穫との事。また青年部OBの方々が仕事の事で励ましてくれて、同じ職業どうしの心の支えを強調していました。でも「会員が減少して来て寂しいです」と笑顔のたえな

お客様には誠意をもって対応



『いざれは地域のリーダーに』
まわりでは

でした。

「町の行事に積極的に参加し、何か役に立ちたい。そして地区の活動を中心におこし』には意欲満々。父親が『地域のリーダー』として現役バリバリで頑張っているだけに、小さいころからその姿を目の当たりにしている彼も『だまっていられない性格で』と自己分析するくらいの行動派。周囲の人達も『今は盛り上げる役だけど、いざれは地域のリーダーに』と大きな期待を寄せていました。

「明るく元気の出る町東由利」が基本の本町にとって、欠くことのできない人材の一人ではないかと感じました。



わが家のアートル

館合新田・渡辺満里奈ちゃん
(H・3・8・18生まれ)
要さんと多代子さん
の長女

「満里奈は動物が大好き。近所の鳥や牛を見ては大きわぎ。特に牛に食べ物を上げるのが好きみたいですね」とお母さんの多代子さん。

- ◆ 師の恩を心に誓い卒業す
- ◆ 卒業や机の傷をいとほしむ
- ◆ 卒業する別れる握手諸手だす
- ◆ 野仮の目覚めうながす落のとう
- ◆ 学舎をふり返りつつ卒業す

東由利の文芸

せせらぎ句会（三月句会）

- 菊地 當作（湯出野）
- 小野 貞子（藏新田）
- 小笠原トミ（藏新田）

- ◆ 晩酌に一品添える落のとう
- ◆ 束の間親の背を越す卒業子
- ◆ 日溜りの山ふところに落のとう
- ◆ 芹葉や妙齡婦人をなぞらえり
- ◆ 番長も目をうるませる卒業歌
- ◆ サイン帳希望大きく卒業す
- ◆ 主去り無人の庭に芽吹く芹葉
- ◆ 前髪の陰にうるむ目卒業歌

- 小笠原トミ（藏新田）
- 阿部 澄子（藏）
- 鈴木 要（沼）
- 小松慶治郎（高戸屋）
- 佐藤 正義（湯出野）
- 小松 メサ（下小路）
- 小笠原亮子（藏新田）
- 佐藤テイ子（藏）
- 遠藤トミ子（小倉）
- 高橋ヒデ子（横渡）

○自治省告示第四十三号
村を町とする処分
地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第八条第三項の規定により秋田県由利郡東由利村を東由利町とする旨、秋田県知事から届出があつた。

右の処分は、昭和四十九年四月一日からその効力を生ずるものとする
昭和四十九年三月八日
自治大臣 町村金五

「村から町にする処分」の告示
申請書を提出、十二月県議会で可決され、昭和四十九年三月八日に「自治省告示第四十三号 村を町にする処分」（写真）が告示され県内で四十五番目の町「東由利町」が誕生しました。

県内ではこの年「井川町」、「仙北町」が村から町になつています。

平成六年度は「町村合併四十年、町制施行二十周年」記念の年です。このコーナーでは町制施行の年、昭和四十九年の出来事にスポットを当ててみました。

昭和四十八年十二月二十日に

招集された第四回村議会臨時会で「町制施行」の議決が賛成多数で可決されました。

小野和仁さん（21歳）
宿・自営業



「人は自分のことを“するめ”のような奴だと思います。何でも咬めば咬むほど味が出るからとか」と自己PR。
次は彼の高校の先輩畠山章さん（あきりん）にリレーします。

レッスン

家業の「小野食品」を手伝つて四年目。「豆腐を作つているせいか、マーボ豆腐が大好き」という彼は町内外に豆腐や油揚げを配達するのが主な仕事。

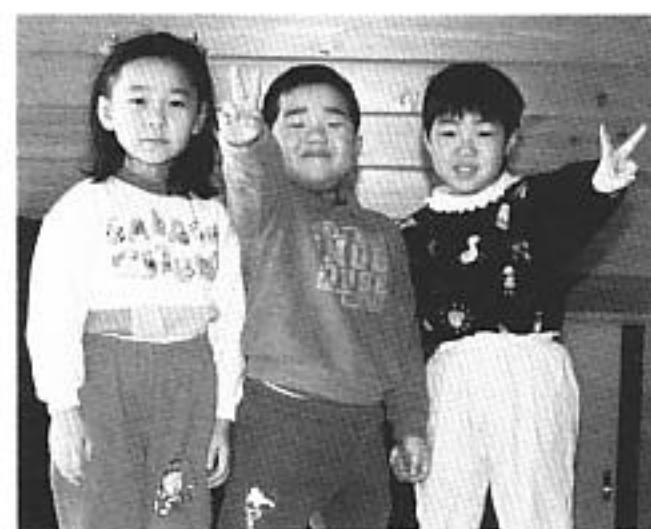
「国道一〇七号が整備されれば、新鮮な豆腐を一分でも早く届けられる」と真剣な表情で話して「国道一〇七号が整備されれば、そんな彼の好きな女性のタイプは「石田えりさんのような人がタイプ。届託のない笑顔がすてきです」とニッコリ。

いました。

さわやかで景色のよい海や山を見るのが好きな彼は「二十歳の集いのメンバーでまたドライブをしてみたい」とすっかり春

の気分。そんな彼の好きな女性のタイプは「石田えりさんのような人がタイプ。届託のない笑顔がすてきです」とニッコリ。

みんな集まれ！タウン



右からみくちゃん・ゆうとくん・ゆうこちゃん

みどり保育園



ぼくの絵
わたしの絵

ぼく・わたしのかお



おのゆうと(五海保)



すずきゆうこ(え保)

未来の夢は？（大琴小2年生）

ぼくは、野球せんしゅが好きです。ぼくはおうえんしているチームがあります。それは西武です。そのわけは、ぼくは西武のぼうしをもつてているし、そのぼうしはかつこいいからです。

だから、西武みたいにつよいチ

ームの野球せんしゅになりたいです。ぼくがめざしたいのは、ホーモラン王です。いまは、二年生だからにいさんのようにうまくはありません。これから、たくさんれんしゅうして、野球せんしゅになるつもりです。



おのたつやくん



おひなたかずきくん



かはしまさとくん

笑顔の子供たち

きやくさんにうつてよろこんで
もらいたいです。

ぼくはパンやさんになりたい
です。いつだつたかおにいさん
がもつていたまるいパンを見て、
どうやつてつくるのかなあとお
もいました。まるくするのかな、
あたためてつくるのかな。ぼく
はねん土でものをつくるのがす
きだから、たのしくパンをつく
れます。ぼくはゼリー

が大好きだから、ゼリーパンを
つくつてみたいです。おいしい
パンをつくつてかぞくや二年生
の六人のなかまにたべさせてあ
ります。だけどじどう車がなく
て行けなかつたので、ちよつとお
こりました。先生から、じどう
車のはい気ガスで空気がよごれ
ているとききました。ぼくは、
空気をよござないじどう車をお

なつた。私たちも三年生になり、
その自覚と言動・行動に対し
ての責任が問われる時が来た。生
徒会の運営も、学校の伝統を引
き継ぐのも築くのも、私たちの
役目。そう、生徒総会の開催も、
運動会を楽しいものにするのも、
学校祭により多くの人に来て
もらうのも、全部自分たちが計画・
実行していかなければならない。
そう思うと一抹の不安を覚える。

ハイスクール○

最上級生 になって

日記



下郷分校3年
佐々木 栄理さん

しかも、それだけにかまつて
いられない。「最上級生」とい
う言葉にはつきものの、進路で
ある。私は就職の予定だが今は
「耳にタコ」ができるほど「不
景気だからねえ」とよく言われ
る。乗り越えなければならぬ
た感じである。自分がどれ位の
ところを狙えるのか、何が適し
ているのか、決断の時であるか
うにしなければならない。

まだまだ迷いの多い私であ
ら、考えを深め、後悔のないよ
うにしなければならない。

まだまだ迷いの多い私であ
ら、考えを深め、後悔のないよ
うにしなければならない。

が、新三年生として決意を新た
にし、前向きな姿勢で新年度に
臨もうと思う。



ネコノメソウ

(ユキノシタ科)

文・写真 小松忠正

山裾の湿ったところや、水辺に多く見られる多年草で、草全体うす緑色をしています。茎は横に這い、節から根が出て花茎をたてます。葉は卵形で対生し、鋸歯があります。花茎は5~20cm立ち上り、その先に淡黄色の小花を集めてつけます。蒴果(アサガオ、ホウセンカなどの種子のなまこ)は深く二つに裂け、猫が光の強いとき目を細めた様子によく似ているというので「猫の目草」という名がついたといわれます。この草の種類は外にも多く見られます。

郷土の野草

No. 97

東由利

3/19 堀内 アキ(94) → 東光苑
3/22 佐藤定四郎(83・リツ・夫)八日町
3/25 畠山ハナヨ(65・正博・母)館合新田
3/26 小野清次郎(91・米作・養父)下通
3/28 佐藤アキノ(101・貞次・母)五海保
3/30 小松松治郎(78・マサヨ・夫)石高

●ごめい福をお祈りいたします

3/26 阿部京子(横渡)
伊東寛子(大内町)

3/21 斎藤慎平(真柳子)長男・石高
3/20 届出・敬称略

●お誕生おめでとう

福寿草

戸籍

窓口

私の好きな
風景



春を感じさせる花はいろいろあります。春が来たという感じがします。(撮影・小松武さん、五海保)

さて何年ぶりかで小学校、中学校の「卒業式」を見て、自分のことと比較して子供たちも随分「大人だな」という印象を受けました。そして純粋な涙の美しさに感動しました。いつまでもこの純粋な気持ちを失わないで育つてほしいと思います。

4月は入学の時期。新しい出会いを求めて、広報担当も忙しくなりそうです。

4月→データ東由利

〈2/1~2/28〉

人口 ()は前月比

■男	2,758人(△6)
■女	2,903人(△2)
■計	5,661人(△8)
■世帯数	1,422戸(一)

()は1月からの累計

- 出生…1人(2)●死亡…5人(13)
- 転入…4人(9)●転出…8人(11)

■火災出動	0件(0)
■救急出動	8件(18)
■交通事故	1件(1)
●死者	0件(0)
●傷者	1人(1)
■飲酒運転	0人(0)
■酒気帯び	1人(1)

カレンダー 4月の行事

5	小学校入学式(13:00~)
6	中学校入学式(10:00~)
7	保育園入園式(10:00~)
4~11	春の火災予防運動
6~15 下旬	春の全国交通安全運動 自治会長会議

転入出や就職で家族の異動があった場合は国保税額が変わりますので、町民課保険係に連絡してください。

今月から役場は毎週土曜日が休みです。

まごころ
藤平さん(八日町)、畠山富一さん(下通)、青木和雄さん(田代)、小松幸男さん(石高)、佐藤貞次さん(五海保)からそれぞれ金一封のご芳志が届けられました。芳志が届けられました。また、佐藤忠一郎さん(千葉県在住、高屋出身)から人一人にスポーツタオルが届けられました。ありがとうございました。

まごころ